

公開シンポジウム「健康な土壌から健康な社会を！—SDGs への貢献」

1. 主 催：日本学術会議農学委員会土壌科学分科会・Soil Health 小委員会、農学委員会・食料科学委員会合同 IUSS 分科会、農学委員会植物保護科学分科会

2. 共 催：日本土壌肥料学会

3. 後 援（予定）：日本土壌微生物学会、日本ペドロジー学会、一般社団法人日本土壌動物学会、公益社団法人農業農村工学会、日本第四紀学会、公益社団法人日本地理学会、一般社団法人日本森林学会、土壌物理学会、日本農作業学会、公益社団法人環境科学会、日本作物学会、根研究学会、森林立地学会、日本沙漠学会、日本腐植物質学会、日本熱帯生態学会、日本熱帯農業学会、日本農学会

4. 日 時：令和 8 年（2026 年）7 月 25 日（土）13 時-17 時

5. 場 所：日本学術会議講堂（東京都港区六本木 7-22-34）（ハイブリッド開催）

6. 一般参加の可否：可

一般参加者の参加費の有無：無

7. 開催趣旨：

2025 年 7 月 26 日開催の公開シンポジウム「Soil Health とは？ 土壌の健康の理解・維持向上・共有」では、1) 土壌の健康は、人間、家畜、環境の健康が相互に依存する「ワンヘルス」や「エコヘルス」のアプローチにおいて最も根本的な要素であり、「社会基盤」として地域・圃場ごとの評価と管理の実装が必要であること、2) 土壌の健康を支えるメカニズムを指標化し可視化するための現場計測手法の開発が必要であること、3) 土壌の健康を社会全体で共有し行動へつなげるための教育と倫理制度の実装が必要であること、を明らかにした。

この結論に基づき、具体的な活動について検討し、日本学術会議における意思の表出の「報告」として「Soil Health（土壌の健康）：国民的理解と持続可能な管理のイノベーションの推進」を執筆したところである。そのなかで、土壌の健康は農業技術への貢献だけではなく生態系サービスの基礎であり、SDGs に直接・間接に貢献する自然資本であること、その維持向上のためには適正な土地利用を図り、土壌の健康の監視と管理の技術と実践方法の開発が必要であること、そしてその意義の社会への発信を強化するためには、教育の在り方を改善し、研究者と技術者と市民の間の協働する必要があること、さらにさまざまな土壌関連の法律をつなぐ土壌の健康基本法の策定が望ましいことを述べた。

本シンポジウムでは、それらの要点を話題提供し、広く一般から意見を伺い、今後の具体的な活動計画の基礎としたい。

8. 次 第：

司会 川東正幸（日本学術会議連携会員/土壌科学分科会幹事/首都大学東京教授）

13:00 開会の挨拶 信濃卓郎（日本学術会議連携会員/日本土壌肥料学会会長/北海道大学大学院農学研究院が教授）

13:10 はじめに 土壌の健康と SDGs 波多野隆介（日本学術会議連携会員/土壌科学分科会委員長/北海道大学名誉教授）

13:25 自然資本としての土壌—地域レベルの土地利用の最適化：藤井一至（日本学術会議連携会員/IUSS 分科会幹事/福島国際研究教育機構ユニットリーダー）

13:45 土壌の健康をチェックする技術開発：矢内純太（日本学術会議特任連携会員/Soil Health 小委員会委員長/日本土壌肥料学会副会長/京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授）

14:05 環境再生型農業技術のイノベーションの推進（マイクロからのアプローチ）：竹山春子（日本学術会議第2部会員/早稲田大学理工学術院教授）

14:25 環境再生型農業技術のイノベーションの推進（マクロからのアプローチ）：当真要（日本学術会議特任連携会員/Soil Health 小委員会幹事/北海道大学大学院農学研究院教授）

14:45 教育研究機関における発信力の向上：森圭子（日本学術会議 Soil Health 小委員会外部委員/日本土壌肥料学会土壌教育委員会委員長/埼玉県立川の博物館学芸グループリーダー）

15:05 土壌の健康基本法（土壌の健康モニタリング法）：川嶋四郎（日本学術会議第一部会員/Soil Health 小委員会委員/同志社大学法学部法律学科教授）

休憩

15:25 地域の土壌の健康を向上し SDGs を達成するリボングラボを成功させるために座長 波多野隆介、犬伏和之（日本学術会議連携会員/IUSS 分科会委員長/千葉大学名誉教授）

15:30 コメント

15:30 重金属類汚染対策の観点から：山口紀子（日本学術会議連携会員/土壌科学分科会幹事/農業・食品産業技術総合研究機構農業環境研究部門化学物質リスク研究領域グループ長）

15:40 病害虫防除の観点から：渡辺京子（日本学術会議第2部会員/植物保護科学分科会委員長/土壌科学分科会副委員長/玉川大学農学部教授）

15:50 リボングラボという考え方：土壌の健康を社会で育てる仕組みについて：若林正吉（日本学術会議 Soil Health 小委員会外部委員/日本土壌肥料学会9部門副部門長/農業・食品産業技術総合研究機構農業環境研究部門主任研究員）

16:00 パネルディスカッション

パネラー 藤井一至、矢内純太、竹山春子、当真要、森圭子、川嶋四郎、若林正吉、山口紀子、渡辺京子

16：50 閉会の挨拶 犬伏和之

以 上